

第5回 下野市総合計画懇話会会議メモ

日 時 平成19年1月11日(木) 13:30~16:50
場 所 下野市役所国分寺庁舎201会議室、301委員会室(第1グループ)、
302委員会室(第2グループ)
出席委員 陣内雄次会長、竹中宏之委員、倉井進委員、加藤芳江委員、黒須基允委員、
小川博委員、中澤悦三委員、松本典子委員、倉持幸子委員、岡部章子委員、
梅山文男委員、茂木正行委員、関口博之委員、上野吉一委員
欠席委員 池田栄委員、松本文男委員、小島恒夫委員
事務局 (企画財政課)
濱野副主幹、坂本主事補

平成19年1月11日(木)、第5回総合計画懇話会が下野市役所国分寺庁舎
201会議室において開催されました。

会長から、「今回を含めて残り4回であり、提言書を提出するまで時間的な余裕が
あまりなく、厳しいスケジュールの中で話し合いを進めていくこととなるが、本日も
活発な議論をお願いしたい。」「提言書をどうまとめていくか、各グループリーダーと
調整させていただきたい。」とのあいさつがありました。

議事に入り、第1グループ(主にソフト)、第2グループ(主にハード)に分かれ、
前回は引き続き、それぞれのグループで討議を行いました。

グループ討議終了後に再度全体で集まり、それぞれのグループで討議した内容の報
告と意見交換を行いました。

主な内容は、次のとおりです。

【第1グループ】(主にソフトを中心に議論するグループ)

学校教育に関連して、育成会や学校支援ボランティアなどの組織についての現状や
組織のあり方についての意見交換が行われた。また、昔からの文化の継承の大切さ、
学校の空き教室の利用、地域と学校の関わり方についても話し合われた。

また、団塊の世代の方が地域活動に参加するためのきっかけづくりや、高齢者が外
に出てきて様々な活動をできるような居場所作りについての意見・アイデアが出さ
れた。他にも、地域活動拠点の場、様々な組織団体の体系化、少子化対策など、学校

教育についての話に始まり、幅広い項目について協議された。

【第2グループ】(主にハードを中心に議論するグループ)

前回、話し合われなかった土地利用や商店街活性化について協議された。第2グループは、ハードを中心に議論するグループとなっているが、ソフトについての意見交換も行われた。商店街活性化については、駐車場や看板がキーワードとなることや、下野ブランドの立ち上げについての意見が出された。また、庁舎建設については、新しい庁舎の形態として、ITを活用した勤務形態はいかがかとの提案があり、それについての意見交換が行われた。

今後は、施設整備や、土地利用と一体となった道路ネットワークの整備などについても議論を進めていきたいと考えている。

以上